

西郷 広報

10月 1日

平成17年（2005）

No.418

—毎月1日・発行—

■日頃感じたこと、心に思うこと！……2～4

■ご長寿をお祝いして……6～7

Main Contents



実りの秋

虫笠地内

子どもみなさん、クーラーのきいた部屋で、ゲームに熱中したことのある人はいませんか。大人のみなさん、すぐそのコンビニに行くのに、車で行くことはありませんか。思い当たる人は要注意です。そんな行動が、かわいい南極のペンギンのすみかを奪うことになるのです。

みなさんは、地球温暖化という言葉を知っていますか。これを見てください。これは地球の気温の変化を表すグラフです。百年前に比べて、気温が少しずつ上がってきているのが分かります。ぼくははじめ、地球が温かくなるのはいいことだと思いました。日本でも、南の島のような暮らしができると思ったからです。でも、ペングインのすみかがうばわれると聞き調べてみると、するとそれは間

違っていました。地球の温度が上がると、南極の水が溶けて海水が増え、低い土地や小さい島は海に沈んでしまうそうです。また、洪水や干ばつも増え、米が育たなくなったり、今までになかった害虫の被害が出たりします。

その温暖化の大きな原因の一つは、地球を覆う二酸化炭素が増え続けていることにあります。これを見てください。これは地球の二酸化炭素の濃度の変化を表したグラフです。どんどん上がってきているのがわかります。二酸化炭素は熱を外へ逃がさない働きをします。それで地球が温かくなってしまうのです。二酸化炭素はエネルギーを使うときに出来ます。つまり、電気などのエネルギーを使うと、二酸化炭素が出て、温暖化が進むのです。

そこでぼくは、エネルギーをあまり使わなかった昔の生活について、祖母に聞いてみました。祖母は子どもの頃、一時間以上歩いて学校に通っていたそうです。また、夏にはせんすやうちわなどで、暑さをしのいでいたそうです。それから、打ち水と言って、庭や道路に水をまいて、涼しくしていたそうです。

ぼくの祖母は、「もったいない」が口癖です。誰もいない部屋に電気やテレビが付いていたりすると、「もったいない」と言って消して回ります。

実は、これらのように、昔の生活スタイルそのものや、こまめに節約することが、結果として温暖化防止につながっていたのです。ぼくは、昔の人の知恵ってすばらしいなと改めて思いました。

そこで、自分たちにできることを考えてみました。例えば、テレビはつけっぱなしにしないことはもちろん、主電源も切る。冷蔵庫の開け閉めは素早く行う。暑さをしのぐために簾で日よけをした



▲表彰を受ける熊田凱くん

距離は自分で歩く。物を大切に、できるだけリサイクルする。このほかに、工夫次第でまだまだたくさんあると思います。大切なのは小さな事からこつこつ始めることです。

ぼくは、将来、宇宙に関係する仕事に就きたいと思っています。この夏、野口さんが、宇宙に行つて、大活躍しました。宇宙から見る地球は、とても美しかったそうです。

この美しい星、地球をずっと守りたい！

ぼくは今、そんな思いで胸がいっぱいです。そして、これは人類共通の願いです。そのために、ぜひ協力して、地球温暖化をくい止めていきましょう。さあ、今こそ、昔の知恵を見習って。



熊倉小学校六年
熊田 凱

「昔の知恵を見習って」

目頃感じたこと、心に思うこと！

第12回 少年の主張大会



十五名が発表

八月二十七日、西郷村青少年育成村民会議主催の「第十二回少年の主張大会」が、文化センターにおいて開催されました。

この大会は、たくさんの夢や希望を抱いている小中学生たちに、社会へ目を向ける機会を提供し、また、同世代の少年が社会の一員として自覚を持つことや、少年の健全育成に対し、一般の理解と協力を深める契機とすることをねらいとしています。

各小中学校の代表者は、今の社会情勢を敏感に察知し、環境や命の大切さなど、自分の経験を通して日ごろから感じていることを素直に発表していました。

審査の結果、最優秀賞に小学生の部、熊倉小学校六年熊田凱くんの「昔の知恵を見習って」。中学生の部は、西郷第一中学校三年の大倉香織さんの「バレーボールを通して」が選ばれました。

今年は、特別発表の部が設けられ、西郷養護学校高等部の大越久美子さんの「わたしはバスケットがスキ！」や中国から転校してきた西郷第二中学校の劉夢夢さんの「日本に来て考えたこと」、異文化体験事業で昨年中国に行った体験について西郷第一中学校の小菅満里奈さんがそれぞれ発表しました。

会場となった文化センターでは、約三百人の聴衆が、十五名の堂々とした意見発表に、大きな拍手を送っていました。



▶主張を発表した皆さん

◆小学生の部	◆中学生の部	◆特別発表の部
▽最優秀賞 熊田 凱 (熊倉小)・「昔の知恵を見習って」	▽最優秀賞 大倉香織 (西一中)・「バレーボールを通して」	大越久美子 (西郷養護学校高等部)・ 「わたしはバスケットがスキ！」
▽優秀賞 佐藤 大輔 (川谷小)・「この西郷がすき」	▽優秀賞 大宮司岳史 (西二中)・「ホームステイを通して」	劉 夢夢 (西二中)・「日本に来て考えたこと」
▽優良賞 鈴木晴彦 (米小)・「県大会出場から学んだこと」	近藤成平 (西一中)・「人間という生き物」	小菅満里奈 (西一中)・「中国で学んだこと」
佐藤宏香 (小田倉小)・「お年寄りへの思いやり」	▽優良賞 鈴木彩芽 (西二中)・「相手の良さと自分」	
岡部匠吾 (羽太小)・「弱虫なんか、ふきとばせ！」	松本恵介 (川谷中)・「一人は皆の為に、皆は一人の為に」	
	國分あかね (西二中)・「切り捨てられた平和」	
	菊池佐和子 (西一中)・「言葉について」	

平成 17 年国勢調査にご協力をお願いします



2005 国勢調査
平成 17 年 10 月 1 日 (土)
9 月下旬から国勢調査員があなたを訪ねてきます。

調査票の記入の仕方

九月下旬から調査員が、皆さんの自宅に伺います。調査票が届いたら「調査票の記入のしかた」をよく読み、お宅に住んでいる人について漏

れ、私たちの暮らしを支える貴重なデータとなります。なお、今回集計されたデータや、これまで皆さんにご協力いただいた国勢調査の結果は、国勢調査のウェブサイトでご覧いただけます。

10 月 1 日現在で、全国一斉に国勢調査が行われます。

国勢調査は、10 月 1 日現在、日本に住んでいる「赤ちゃんからお年寄りまで」のすべての人を国籍に関係なく普段住んでいる場所で世帯ごとに調査するものです。

この大規模な統計調査は、1920 年 (大正 9 年) から 5 年ごとに行われており、今回で 18 回目となります。

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を明らかにし、国や都道府県・市町村の行政の基礎資料として、少子高齢社会への取組やみなさんのまちづくりに活かされます。

調査の対象と目的

平成十七年十月一日現在、日本に住む人すべてが国勢調査の対象者です。

調査する項目は、「世帯員の数・男女の別」「住居の種類」「通勤・通学地」など十七項目です。

調査の結果は、国や地域社会における経済、都市計画、福祉、防災対策など、行政の様々な分野での施策を定めるための基礎数値として分析され、私たちの暮らしを支える貴重なデータとなります。

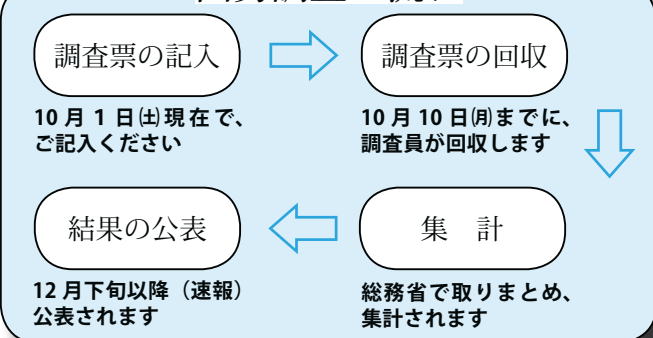
なお、今回集計されたデータや、これまで皆さんにご協力いただいた国勢調査の結果は、国勢調査のウェブサイトでご覧いただけます。

プライバシーは、守られます

統計調査により集められた情報は、個人を識別することができない統計を作成するためにだけに用いられるもので、「統計法」において秘密の保護に関する規律が厳格に規定されています。

「統計法」は、調査に従事する人 (国・地方公共団体の職員、指導員、調査員) に調査上知り得た秘密に属する事項を他に漏らしてはならない守秘義務を定めています。さらに、何人も調査票を統計作成の目的以外に使用すること

国勢調査の流れ



また、調査票は、外部の目に触れないように厳重に保管され、集計が完了した後は、すべて溶解処分されます。このように、統計調査により集められた情報は、「統計法」により固く守られていますので、皆さん安心してあります。また、調査票は、外部の目に触れないように厳重に保管され、集計が完了した後は、すべて溶解処分されます。

「バレーボールを通して」



西郷第一中学校三年
大倉 香織

「香織、部活一緒に行こう。」
「ごめん、今日生徒会があるんだ。」
放課後、わたしには友だちとのこんな会話が当たり前になっていました。

わたしの部活動はバレーボール。ポジションはセッターです。

「県大会出場」を目標としていたわたしは、6月に控えた県南中体連に全てをかけていました。「悔いのない試合にしたい。」と、だれもが思っていたに違いありません。もちろん、わたしも。

バレーボールは6人制であるため、3年生が12名もいるわたしたちのチームは、みんなが試合に出られるわけはありません。わたしもその中の一人。「レギュラーになって中体連に出場できるようにがんばろう。」この目標達成のために、一生懸命練習しました。

しかし、大きな壁にぶつかりまし

た。それは、生徒会との両立です。「部活動に行きたい!でも、生徒会の仕事もやらなければならない。」生徒会長という立場で、生徒会の仕事に手を抜くことはできませんでした。生徒会の仕事で遅くなれば、部活の練習時間も少なくなる、みんなはどんどんうまくなっていく。わたしは生徒会での遅れをとり戻すことだけで精一杯でした。

ある日の練習試合、試合に出たわたしは、「練習不足」だということを感じました。体が動かない、トスがアタッカーと合わない、自分のプレーができない、そして、一番悔しかったことは、今までできていたことができなくなっていたことでした。「人の何倍も努力してきた。あんなにがんばっていたのに、どうしてうまくならないの?こんなわたしがセッターとして試合に出たら、みんなの足を引っ張って

しまう。」などと、次第に自信もなくなり、弱音を吐くようになっていました。中体連も近づいてくる。言いたいような焦りがおそってききました。

からやり直すことにしたのです。今までトスばかり上げてきたわたしにカットができるのかとても不安でした。でも、残された時間はあとわずか、やるしかない。そしてわたしの一つの挑戦が始まったのです。つらい時、苦しい時、悔しい時、泣いてしまった時、いつも支えになってくれたのは「仲間」でした。一緒に苦楽を共にした仲間の支えが、どんなに心強かったものか言葉では表せないほどです。そして、中体連を迎え、わたしはリベロとして試合に出場することができました。

最初は先生のおっしゃっていることが理解できませんでした。ただ、溢れ出した涙が止まりませんでした。「試合に出たい。」わたしが言っていた目標は、自分のことだけを考えた目標だったのかもしれない。自分が試合に出た、出ないではなく、チームが勝って、県大会に行ければ。そして、わたしは一つの決心をしました。チームのために今の自分ができること。わたしはセッターをやめることを決断し、レシーブ専門の「リベロ」というポジションで一

残念ながら、県大会出場という目標は達成できませんでした。部活動と生徒会を両立しようと努力してきたことで、わたしは成長できたと思います。たくさんの人から支えられたこと、友達の大切さ、そして、何より、コートの中で仲間と一つのボールを追いつけたこと、それはとてもとても気持ちの良いものでした。試合終了後仲間と共に流した涙は、わたしの一生の宝物です。

次は生徒会長として、中学校生活最後の学校祭の成功に努力したいと思います。



▲座布団を受け取る代表の山崎さん



▲銀杯を受けとる室井久雄さん



▲記念品を受け取る白岩勢恵子さん



▲謝辞を読み上げる藤田長夫さん



▲金杯を受けとる岩鍋正明さん



▲金婚夫婦表彰代表の後藤夫妻



▲間の原おどり愛好会の「祭」



▲敬老祝金を受けとる川名 武さん



▲菊池まさこさんの歌謡ショー



▲東しほりさんの歌謡ショー



▲小田倉おどり愛好会の舞台



▲まきば保育園児による演技



▲初披露、西の郷青少年少女合唱クラブ



ご長寿をお祝いして

平成17年度

敬老会



▲式辞を述べる佐藤村長



健やかな笑顔に包まれて

西郷村の八月三日現在での住民登録者は、一九、四二〇人。このうち七二歳以上の高齢者の人口は、二、〇七四人で全体のおよそ一〇・六％になっています。ちなみに、七二歳から七四歳は、四八七人、七五歳以上は一、五八七人となっています。村内の七二歳以上の高齢者を村民体育館に招いて、敬老会が行われました。式典では、記念品の授与、そして式典後の歌謡ショーなどが披露され、楽しいひとときを過ごしました。

九月六日、「平成十七年度西郷村敬老会」が村民体育館で開かれ、五六八人が集いました。

式典では、佐藤村長が式辞を述べ、来賓の方々から「いつまでも元気で長生きしてください」と長寿を讃える祝辞がありました。

引き続き行われた記念品の贈呈式では、村内七二歳以上の、八六七名（太陽の国を除く）を代表して虫笠行政区の白岩勢恵子さんが、八〇歳に贈られる銀杯該当者一〇九名を代表して鶴生行政区の室井久雄さんに、八五歳に贈られる金杯該当者五三名を代表

して黒川行政区の岩鍋正明さんが、それぞれ受け取りました。また、福島民報社と西郷村老人クラブ連合会の金婚夫婦表彰では、一七組を代表して上野原行政区の後藤吉雄さん・タケ子さんご夫妻が受賞されました。

最後に、熊倉行政区の藤田長夫さんが謝辞を述べました。式典終了後には、アトラクションとしてまきば保育園児や西の郷青少年少女合唱クラブ、村内のおどり愛好会の方々による踊りのほか、東しほりさん、菊池まさこさんの歌謡ショーが行われ、参加した皆さんは、敬老会のひとときを楽しくすごしていました。

村内の小中学生、高校生合わせて 103 名が参加して「バスケットボール講習会」が村民体育館で行われました。講師には、元ユニバーシアード代表バスケットボールチームに所属していた渡辺貴子さんを招き、ドリブル、シュートの仕方などを分かりやすく指導していただきました。参加者は、憧れの選手に教えてもらい、全国レベルの技術を身に付けようと真剣に練習していました。

フロの選手からの熱血指導



9/3

村文化センターで「地域食育シンポジウム・食育講演会」が開催されました。この講演会は、子どもたちが正しい食習慣を身に付け、食生活を通して自らの健康管理ができることを目的に開催されました。講師の江原絢子先生は、「家庭でもっと栄養のバランスの取れた食事をとることが大切です。」とお話をされていました。

バランスの取れた食事を

9/11



9/1

合い言葉は「いかのおすし」

熊倉小学校では、「安心教室」として子どもの連れ去り事件等から子どもたちを守るための対処方法を教える授業を全クラスで行いました。

「**行**かない・**乗**らない・**大**声を出す・**す**ぐ逃げる・**知**らせる」という不審者からの逃げ方を習った子どもたちは、どんな時でも自分が知らない人からの誘いには「いかのおすし」で対応することを約束していました。



9/8

タスキをつないで

今年も台上地内で第 48 回西白河中学校駅伝が開催されました。西白河郡の各中学校の選手たちが、男子 6 区間 18 km、女子 5 区間 12 km でタスキをつなぎました。村内の中学校の最高成績は、男子が西郷第二中学校で 7 位、女子が西郷第一中学校で 3 位でした。各区間の選手達が精一杯走る姿に、沿道の観客はたくさんの声援を送っていました。

9/8~9

村内の小学校の 6 年生の児童を対象として、他校の友達との交流を目的とした宿泊学習が行われました。那須茶臼岳に登り、眼下に広がる景色を楽しんだり、夜には少年自然の家で火の神様に扮した村長を囲みキャンプファイヤーを行いました。次の日の野外炊飯では、美味しいカレーライスを作ったりと他校の友達と友情の輪を広げました。



楽しい時間のなかで



英国の文化を体験

中学生異文化体験研修が天栄村にあるブリテッシュ・ヒルズで村内の中学 2 年生 20 名が参加して行われました。

英国の文化、生活習慣等を学び、国際感覚を身につけ、視野を広げることを目的に英会話やテーブルマナーなど 7 つの研修を学び、普段学習できない英国の文化を体験しました。



8/15~17



▲平成10年の水害後に改築された熊野神社

第13回 「熊野神社」 (熊倉)

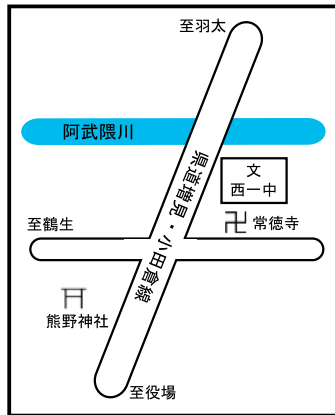
にしごうの神社

県道増見・小田倉線を役場から羽太に向かい、熊倉の集落が見える頃、左側の丘陵にあるのが熊野神社です。

文化二年(一八〇五)の『白河風土記』には「熊野権現社」とあり、熊倉村の鎮守となっています。また、文政七年(一八二四)の「白河郡米村組熊倉村明細帳」には「熊野権現宮」とあり、この文書は「寛保年中(一七四一〜四四)の古形をもつて書き上げた」とあるため、十八世紀前半には成立していたと考えられます。

熊野信仰は平安時代末期に上皇や法皇が和歌山県の熊野三山に詣でた熊野御幸を契機に全国各地に広まり、東北地方では室町時代に豪族による熊野堂勧請が盛んに行われていました。白河地方も白河結城氏が支配を確立するため、棚倉の八槻大善院と結びついていました。八槻大善院は八槻都々古別神社の別当で、十五世紀頃に成立し、白河地方における熊野信仰を統括する立場にありました。熊倉神社の別当は大法院で、常徳寺の項に「棚倉矢槻大善院の同行なり」とあることから、熊倉神社も大善院や白河結城氏の関係から創建された可能性があります。

十四世紀の白河結城氏の所領を伝える「結城宗広知行所領注文案」には、「熊倉」とあり、この頃には熊倉に集落が営まれていたと考えられます。もしかすると、熊倉の地名の由来は「熊野神社が座(クラ)する」ことからついたのかもしれない。



環境揭示季

「スプレー缶等によるごみ収集車の火災多発」

最近、スプレー缶や卓上ボンベなどに穴を開けないまま出されたことによるごみ収集車内の火災事故が頻繁に発生しています。一步間違えば大きな事故になりかねません。

スプレー缶等を出す場合は、中身を使い切り、必ず穴をあけてから出すよう一人ひとりが心がけましょう。

なお、穴を開ける場合には、中身が無いのを確認して火の気の無い、風通しの良い場所で行ってください。



▲市販されている穴開け器を使用すると便利です。

■問合せ

住民生活課生活安全係

☎ 25-2197 ✉ jumin@vill.nishigo.fukushima.jp

甲子地区で行われる大会

今年の四月に開催した「第一回観桜ウォーキング大会」は、大勢の参加者により大盛況に終了しました。村では、村民の方々に、もっとウォーキングに理解を深めてもらいたいと考えています。

十月二十二日に、甲子地区で行われる「みずウォーク二〇〇五源流の郷西郷大会」がうつくしま・みずウォーク実行委員会の主催で行われます。

この大会は、水辺の自然に親しみ、水環境に理解を深めてもらう大会です。「阿武隈川源流の五kmコース」、「十km

西郷村シンボルスポーツ

健康ウォーキング

シリーズ⑥

「みずウォーク 2005

源流の郷西郷大会」

村では、健康増進のため手軽にできるウォーキングを推進していますが、村内、甲子地区で開催される「みずウォーク」に参加し、自然を眺めながらのウォーキングを楽しんでみませんか。

参加要項

・日時 10月22日(土)

・受付 8時30分〜

・受付場所 キヨロロン村

・参加費

大人五百円、中学生以下三百円

(当日は、二百円増し)

※未就学児は、無料

・申込み方法

往復はがきに参加者氏名、住所、電話番号、参加コースを明記して左記の宛先にお送りください。

〒960-1864 福島市柳町四の二十九 福島民友新聞社「みずウォーク」係まで

960-18648

福島市柳町四の二十九

福島民友新聞社「みずウォーク」係まで

■お問い合わせ

生涯学習課・健康推進課

もしもの風水害のために 消防団水防講習会開催



▲▲真剣に講習を受ける消防団員

八月二十八日(日)小田倉字中島地内(中島橋下流付近)で西郷村、西郷村消防団による水防講習会が消防団員約百名の参加により実施されました。

水防講習会は、水防活動に必要な知識と水防作業の実施指導、更に情報の迅速な伝達、資材管理等の確認を徹底させ、団員の知識・技術習得等意識の高揚を図るとともに、村の水防体制の充実、強化を図ることを目的として行っています。

村では、平成十年八月二十七日の集中豪雨によって甚大な被害を受けました。この日を忘れず後世に語り継ぐとともに、水防活動の重要性を再確認しました。

統監の佐藤村長から「消防団の皆さんのおかげで村が守られています。万が一の時に一番に駆けつけられるのが地域の消防団です。」と激励をしました。

水防は、迅速なる処置によってその効果を期待することができます。

information

お知らせと情報

各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	下水道課	25-2912
住民生活課(住民生活安全)	25-1114 25-2197	会計室	25-2934
行政サービスセンター	31-2237	議会事務局	25-2980
健康推進課(保健・国保)	25-1115	農業委員会事務局	25-2946
(地域福祉・高齢者福祉・介護保険)	25-3910	西郷村土地改良区	25-1116
在宅介護支援センター	25-5121	学校教育課	25-2370
商工観光課	25-2910	学校給食センター	25-1256
農政課	25-1116	生涯学習課	25-2371
建設課	25-1117 25-1118	水道事業所	25-2962
		代 表	25-1111

●歯科医 休日当番日

10.2	まるやま歯科医院	(白河市) ☎ 23-9146
10.9	水野谷歯科医院	(中島村) ☎ 52-3933
10.10	三森歯科医院	(白河市) ☎ 23-2401
10.16	本柳歯科医院	(泉崎村) ☎ 53-5030
10.23	山本歯科医院	(白河市) ☎ 24-2888
10.30	よしなり歯科医院	(白河市) ☎ 24-3020

●小児科医 休日当番日(白河地区)

10.2	関根医院	(白河市) ☎ 27-3060
10.9	樋口小児クリニック	(矢吹町) ☎ 42-2040
10.10	みうら小児クリニック	(白河市) ☎ 28-1001
10.16	わたなべ子どもクリニック	(白河市) ☎ 21-2166
10.23	おかざきクリニック	(白河市) ☎ 23-2551
10.30	岡田小児科内科医院	(白河市) ☎ 23-7811

●内科医 休日当番日(白河地区)

10.2	佐藤循環器内科クリニック	(白河市) ☎ 24-2311
10.9	すずき内科クリニック	(白河市) ☎ 24-4114
10.10	鈴木ホームクリニック	(白河市) ☎ 31-8181
10.16	野村貴成堂クリニック	(白河市) ☎ 23-3071
10.23	千葉医院	(白河市) ☎ 24-2080
10.30	つかはら内科クリニック	(白河市) ☎ 24-1011

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909
(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。)

●今月の納税

村 県 民 税 (3 期)
国民健康保険税 (4 期)
介護保険料 (4 期)
10月31日(金)までにお納めください。
※納税は便利な口座振替で

お知らせ

第23回西郷村文化祭

- 会場 西郷村文化センター
- テーマ “2005年 拡げよう文化の輪(WA!)”
- 芸能発表会 10月16日(日) 9時～
- 作品展示の部・模擬店 11月3日(木)～11月5日(土) 9時～
- ※模擬店は3日のみ
- 問合せ

平成18年西郷村成人式

村外居住者の受付
今年度の成人式は平成18年1月8日(日)に行います。
村外居住者(村外に住居登録している方)で、西郷村成人式に参加を希望する方は、受付を行いますのでお申込みください。

文化祭実行委員会(文化センター内)
☎ 25-2755

- 該当者 村外居住者
- 生年月日 昭和60年4月2日
- 受付期間 平成17年10月11日～平成17年11月30日
- 受付場所・電話 文化センター ☎ 25-2371 ☎ 25-2755

※村内住所登録者は後日、通知書(はがき)を送付し、ご案内いたします。



相談

土地を活かして創る明るい未来

10月は土地月間

(社)福島県不動産鑑定士協会では、これに併せ、「無料相談会」を実施します。

- 開催日時 10月15日(土) 10時～15時
- 開催場所 白河市 白河地域職業訓練センター 郡山市 郡山市労働福祉会館 福島市 福島市民会館
- 問合せ (社)福島県不動産鑑定士協会 ☎ 024-931-4360

全国一斉司法書士無料法律相談

10月1日は法の日

- 期日 10月1日(土) 10時～15時
- 場所 高山コミュニティセンター(白河市新白河2-212)
- 相談内容 ◆不動産の相続・売買・保存などの登記 ◆会社の設立・役員変更・増資などの登記 ◆借地借家法に基づく手続き ◆供託の手続き ◆家事審判手続き・訴訟書類の作成など

市道南湖線通行規制社会実験

南湖の北側道路に段差(ハンプ)を多数設け、通過交通量や周辺道路への影響、また店舗を訪れる客数を調査し、市道南湖線の将来のあり方を調べる資料の収集を行います。
実験期間中は通り抜けをご遠慮願います。なお、周辺道路の混雑も予想され、ご不便をお掛けしますがご理解とご協力をお願いします。
●期間 10月20日(木)から約3ヶ月の予定
●区間 市道南湖線常磐清水から芝

※相談は個別にうかがい、内容は秘密にいたします。

- 問合せ 福島県司法書士会 ☎ 024-534-7502

秋の行政相談週間

10月17日(月)～23日(日)

- 行政相談所の開設について 日時 10月17日(月) 10時～15時
- 相談所の相談員 場所 西郷村文化センター2階控室
- 相談所の相談員 県政相談員 入谷みちこ 行政相談員 越前 六郎
- 問合せ 住民生活課(住民係)

募集

第47回西郷村内一周駅伝

- 日時 11月3日(木) 雨天決行 8時 開会式 9時 スタート
- 参加資格 西郷村民及び西郷村に職を有する者
- ※1チーム14名(内補欠2名)としてチームを編成する。
- 参加料



- 生広場までの約600m
- 問合せ 白河市都市計画課 ☎ 22-1111

平成17年度全国道路

交通センサス

道路の実態や平日・休日の自動車の交通量、運行目的などを調査する全国道路交通センサスが実施されます。この調査結果は、将来の道路整備や維持管理、都市計画に活かすための重要な資料となりますので、皆様のご協力をお願いします。

●調査内容

▼一般交通量調査

調査日の交通量を、車種別方向別に調査します。
平日 10月12日(水)～13日(木)
休日 10月2日(日)～3日(月)

▼路側起終点調査



小・中・高・女子 2,500円
一般 3,000円

●募集期間 10月3日(月)～13日(木)

■問合せ・申込み

生涯学習課(体育振興係)

にしごう麵・めんまつり

村内の麵類提供各店を食べ歩き、家族みんなで「にしごう麵・めんまつり」に参加しませんか？

※ボランティアも募集しています。

●日時 10月30日(日) 10時～14時

●場所

西郷村文化センター及び駐車場

●内容 にしごう麵・めんスタンプラリー(10月23日～29日実施)の表彰抽選会、「おいしい顔の絵」コンクール(幼児・小学生)、麵類川柳(麵柳)募集とスタンプラリー各店への掲示、フリーマーケット(出店には要予約)、地場産品即売、出店など。

■問合せ

NPO法人ほっとアクト内

「源流の郷にしごう活性化委員会」

☎・FAX 25-2711

平成18年度保育園申込受付

●保育園入園申込受付日時及び場所

保育園(受付場所)	申込受付日	時間
みずほ保育園[70名]	11月15日(火)	13時30分
まきは保育園[50名]	11月11日(金)	16時30分
細川合保育園[90名]	11月14日(月)	16時30分

●入園対象は、生後10カ月齢(川谷保育園は6カ月齢)以上で、保護者の就労等の事由により、家庭内で保育することができない乳幼児で、かつ、同居の親族その他の方が保育することができない場合となります。

●現在、入園している園児の申込は不要ですが、保育園を変更したい場合には、新たに申込が必要となります。

●申込書は、お子さまの入園の可否決定に、重要な資料となりますので、事実を記入してください。また、聞き取り調査等で事実と異なる場合は、入園が取り消しとなる場合があります。

●申込書は、10月14日(金)から各保育園・健康推進課(保健福祉センター内)に用意しております。

■問合せ 健康推進課(地域福祉係)

なすかしの森 ファミリーフェスティバル

大自然の中での様々な活動を通して、親子の絆を深めませんか？

●期日 10月8日(土)・9日(日)

※一泊二日の日程ですが、9日(日)の日帰り参加も可能です。

●場所 国立那須甲子少年自然の家

●募集人数 家族、一般 300名

(定員になり次第締切り)

●参加費 【宿泊参加の方】

(夕食・朝食代、シーツ洗濯代)

3歳未満 無料

3歳以上の未就学児 1,040円

小学生 1,220円

中学生以上 1,250円

※日帰り参加者は無料です。当日は駐車場の混雑が予想されますので、なるべく「那須甲子少年自然の家送迎バス」や「福島交通路線バス」をご利用ください。

●申込み・問合せ

国立那須甲子少年自然の家事業推進課

☎ 0248-36-2331

FAX 0248-36-2150



裁判所見学会

福島県地方裁判所と福島家庭裁判所では「法の日」週間行事として、皆さんに、より身近な裁判所となるよう見学会を実施します。

●日時 10月11日(火) 13時～16時10分

●場所 福島地方・家庭裁判所

●内容 模擬家事調停・法廷見学・成年後見制度について等

●定員 電話申し込み先着60名

■問合せ・申込み

福島家庭裁判所事務局総務課

☎ 024-534-6186

善意

ありがとうございます。

◎西郷村に寄付された方々をご紹介します。

▼大高久男さん

【柏野】

(八月二十六日、故大高ヨシ氏の遺志による介護保険事業のため)

一〇〇,〇〇〇円

▼北川良博さん

【米】

(九月十四日、故北川良治氏の遺志による防災事業のために)

一〇〇,〇〇〇円

発売期間
9/26～10/11

お買い求めはお早めに！！

オータムジャンボ



1等前後賞合わせて
2億円

この宝くしの収益金は市町村の
明るいまちづくりや環境対策、
高齢化対策など地域住民の福祉
向上のために使われます。

行事 カレンダー

2005 年 10 月
October

●今月の顔———

12～13 カ月児健康相談

に来ていた子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
						1 災害ボランティア 養成講座 (13:00 文化センター) スポーツ講演会 (13:30文化センター)
2 あぶくま水の郷ス ポーツ大会 (9:00 村民体育館他)	3 	4 菊地清人杯ゲートボ ール大会 (9:00 村 宮ゲートボール場) BCG予防接種 (13:00 保健福祉センター) パパとママの育て て講座 (12:40 保 健福祉センター)	5 寿学級 (10:00 ア クティブセンター) ポリオ予防接種 (13:00 保健福祉セ ンター)	6 ポリオ予防接種 (13:00 保健福祉セ ンター) 地域懇談会 (19:00 上羽太公民館)	7 	8 
9 あぶくま水の郷ス ポーツ大会 (パド ミントン) (9:00 村民体育館)	10 体育の日 スポーツ少年団スポ ーツフェスティバル (8:00 村民体育館) あぶくま水の郷ス ポーツ大会 (ゴルフ) (8:00 タイガーゴル フクラブ)	11 心配ごと相談会 (13:00 高齢者生活 支援センター) 地域懇談会 (19:00 虫笠地区集落セン ター)	12 ブックスタート 読み聞かせ事業 (9:00 保健福祉セ ンター) 6～7 カ月児健康 相談 (9:30 保健福 祉センター)	13 母子手帳交付・健 康相談 (13:00 保 健福祉センター)	14 3才児健康診査 (13:00 保健福祉セ ンター)	15 地場産業商工祭 (9:00 文化センター 前駐車場) ふるさと探検隊 (9:00 熊倉地内・ 関根遺跡)
16 消防団秋季検閲 (8:00 熊倉小学校庭) 第23回文化祭・ 芸能発表会 (9:00 文化センター) 寿学級 (9:00 文化 センター)	17 県政巡回相談・行 政相談会 (10:00 文化センター)	18 クッキング教室 (18:30文化センター)	19 	20 地域懇談会 (19:00 下新田コミュニテ ィセンター)	21 	22 みずウオーク2005 西郷大会 (8:30 受 付キョロロン村) 親子ふれあい広場 ミニ運動会 (9:00 熊倉小学校体育館)
23 第15回西の郷ロ ードレース大会 (8:30 村民野球場 スタート)	24 地域懇談会 (19:00 真船コミュニテ ィセンター)	25 献血 (13:00 ジャ スコ白河西郷店) 心配ごとと特別相 談会 (13:10 高 齢 者生活支援センター)	26 歯科クリニック (幼児 13:00、6才 児 13:45 保健福祉 センター)	27 母子手帳交付・健 康相談 (13:00 保 健福祉センター)	28 1才6カ月児健康 診査 (13:00 保 健 福祉センター)	29 
30 	31 					

★県南地域の主な行事です (NPO 法人カルチャーネットワーク提供)

- ・10/9～10 全国ラーメンフェスティバル in 白河 (JR 白河駅西側イベント広場 10:00)
- ・10/13 おひざにだっこのおはなしかい (西郷村文化センター 10:30)
- ・10/16 家畜改良センターふれあいまつり (西郷村家畜改良センター 10:00)
- ・10/16 出逢い&ふれあいの会～STEP2「ふれあい」(羽鳥湖高原レジーナの森 11:30)
- ・10/23 子どもの祭典 (棚倉町文化センター 10:00)
- ・10/29～30 奥の細道そば紀行 (白河市関の森公園 10:00)
- ・10/30 にしごう麺・めんまつり (西郷村文化センター 駐車場 10:00)

誌上天然色作品展

（村内の小・中学校の児童や生徒のみなさんの作品を紹介しています。）

図画

「ちよつとひと休み」



西郷第一中学校二年
矢上 奈菜



美術担任の酒井宏美先生から一言

一面の緑の中に赤い傘が一つ。そしてひと休みする猫。大胆な色彩と構図で、とても印象的な絵に仕上がっています。

詩

「なりたい」



西郷第一中学校三年
鈴木 彩姫

温かい午後
お昼休みだった
私は校庭に出た
そして
まぶしい空を見た
太陽が温かい
私もなりたい
太陽のような心に
私もなりたい
全てを明るくつつむ
大きな太陽
私は……
全てを明るくつつむ
大きな人に
なれるだろうか
なりたい
なりたい
太陽に

国語担任の小野 聡先生から一言

バスケット部で元気に明るく活躍していた彩姫さん。部長として下級生からも慕われている、そんな人柄がにじみ出ている作品です。

書

「緑風」



西郷第一中学校一年
班目 沙那



習字担任の橋本和裕先生から一言

授業の時間に書いた作品です。全体のバランスもよく、一字一字丁寧にしっかり書かれています。大変すばらしいと思います。